

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	ぎんりゅうがいあーけーど <b>銀柳街アーケード</b>
1-24	

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input checked="" type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区砂子2丁目～駅前本町
問い合わせ	川崎銀柳街商業協同組合
TEL	044-233-1666
FAX	
E-mail	jimukyoku1666@ginryugai.or.jp
URL	http://www.ginryugai.or.jp/ (銀柳街HP)
交通	JR川崎駅より徒歩5分 京急川崎駅より徒歩5分



### 基礎情報

■銀柳街は、JR川崎駅前の市役所通りから新川通りを結ぶ延長約250mの商店街。銀座街とともに古くから買物客を集め、川崎駅前の賑わいの中心となっている。通りを美しく彩り、買い物客の目を楽しませているアーケードには、様々な工夫が施されている。天井部分は換気や採光に優れた開閉式で、多数のスタンドグラスや天窓がはめ込まれている。また、市役所通りと新川通りに面するアーケードへの入口部分には、国内最大級と言われる大型のスタンドグラスアーチが設置され、銀柳街の顔として川崎を歩く人々を引きつけている。

### 由来・エピソード

■昭和53年(1978)5月、老朽化したアーケードの改装計画において、川崎市第一の商店街らしい、新しい明るいイメージのあるアーケードへの建て替えが計画された。雨を防ぐという実用的な視点から設計されたそれまでのアーケードとは違い、火災や地震にも対応できる防災性や人をひきつける話題性、買い物客が楽しくショッピングできる機能性などの観点から検討がなされた。その結果、天井中央部を換気や採光ができる開閉式とし、全体にカラフルで明るい雰囲気を出す25枚のスタンドグラスを用いること、開閉部以外にも天窓として強化プラスチックを使用し、太陽光をふんだんに取り入れられる省エネ型のアーケードとすることとした。こうして新アーケード「ウィロード」は、総工費4億5千万円をかけ、昭和55年(1980)に完成した。

■平成3年(1991)、アーケード入口のアーチが老朽化し改装が課題となった際には、街づくりの視点を加えたアーチの改装が検討された。「銀柳街は川崎全体のイメージに影響を与える、いわば表玄関の商店街。ヨコハマにはない新しい川崎らしさのアイデンティティ(独自性)を創造すること」という基本発想が設定され、首都圏には見られない「スタンドグラスアーケードの魅力」を銀柳街のアイデンティティとしてさらに伸ばすこととなった。スタンドグラスのモチーフは、銀柳街の内部装飾によく使われており、環境を大切にするという時代や心の豊かさを連想させる「花」を用いることになった。

■飽きられることなく、時を経て光を増すものにするため、それまで一貫して花をモチーフとしたスタンドグラスを創造しつづけてきた持田真理子氏を設計に起用することとなった。持田氏の情熱のもと、平成6年(1994)、全長15メートルにもおよぶ手造りのスタンドグラスアーチが完成した。

■アーチは「花とスタンドグラスのある街」をテーマとして2枚で1つの作品となっている。虹の神「アイリス」と繁栄の神「ユリ」がそれぞれ虹と太陽の光で包まれ、四季折々の花がその周りを取り囲んでいる様子を表しており、街を通る人々の心と商店街を繋ぐ掛け橋となるよう願いが込められている。

### 補足・その他

### 関連シート

- (1-22)かわさき阿波おどり
- (1-23)銀柳街・銀座街